

法岩院だより

平成26年度号



『縁に感謝する』

私たちはどこかで「縁」という言葉を耳にしたり、日常的に使用していることでしょうか。日本人は、「縁」というものを特に心に浸透させているのです。それは、朝飲むお茶の茶柱が立っていると「縁起がいい」と言ったり、受験生に「・・・が落ちる」などの言葉に対しては、「縁起が悪い」と連想するぐらい、直接的には関係のないのにあたかも関係のあるように考えてしまうのです。

皆様はこの「縁」が仏さまの教えだということをご存じだったでしょうか？ 仏さまはこの世界の現象はすべて目には見えない「縁」によって結ばれて、起きていると説かれており、これは「縁起説」と呼ばれています。この「縁」というのは先程も例に出したように、良い縁もあれば、悪い縁もあります。努力することはとても素晴らしいことですが、その結果が必ず良い結果になるとは限らないのは、その時の縁がどちらかになるかわからないからです。

しかし、私たちが今ここを生きてこられたのはさまざま「縁」があったからです。まず、私たちが生まれてくることができたのは言うまでもなく、両親との「縁」があり、その後もたくさんの方との「縁」があり、支えられて、今があります。もちろん檀信徒の皆様と法岩院との出会いも大切な「縁」です。人によって、良い縁、悪い縁との比率はさまざまですが、どちらの「縁」に対しても、すべてを受け入れて、感謝することが大切です。この感謝することができる人こそが仏さまも説かれている正しい道に進めるのではないかと思います。

口にすることは容易ですが、実践することは容易ではありません。しかし、難しいことをするのはではなく、目に見えることから実践していくことが重要となってきます。

いよいよ8月は法岩院では一日に新盆・山門大施食会、十三、十四、十五、十六日はお盆とご先祖さまを供養する機会がたくさんやってきます。私たちが今ここを生きてこられているのは各家のご先祖さまとの「縁」のおかげです。ぜひ、皆様には、お墓参りなど、お手を合わせられる際は感謝の心をお持ちになれるようお願い申し上げます。

【法岩院副住職 明生 瑞世報告】

ずいせ

この度、法岩院副住職 明生が昨年十月に福井県の大本山永平寺、十一月には大本山總持寺にて両祖さま(道元禪師様、瑩山禪師様)に「無事、師匠より法(仏さまの教え)を授かりました。これからも日々精進してまいります」というごあいさつの儀式を勤めさせていただきました。

特に大本山永平寺の瑞世には総代、役員をはじめめとする多くの檀信徒の皆様が「永平寺と和倉温泉『加賀屋』・北陸路の旅」と称しまして、団参で臨むことができました。ご参加頂きました皆様方には厚く御礼を申し上げます。

また法岩院としてはこれからも団参旅行を計画していく予定ですので、またのご参加をよろしくお願いいたします。

總持寺での瑞世の様子(例)



【施食法要のご案内】

せじき

日時

- ・ 八月一日(金)
- ・ 午前 十時 法話 中野 東禪老師
- ・ 午前 十一時 法要(新盆の皆様)の供養
- ・ 十一時三十分 (各家のご先祖様の供養)

★施食法要は多くの僧侶をお招きし、各家のご先祖様方の供養の大法要です。普段の法事とはまた異なった雰囲気です。

この機会にぜひ、新盆以外の檀信徒の皆様にも御参拝を心よりお待ちしております。

お願い

- ・ 塔婆は午後一時頃に境内に出ます。
- ・ 車でご来山の方は寺前の路上駐車を固くお断りしています。
- ・ 必ず専用駐車場をご利用下さい。
- ・ ゴミ等は必ずお持ち帰りください。
- ・ 施主(代表者)、連絡先等の変更がございましたら、早急に法岩院までお申し出下さい。

何卒、ご協力お願い申し上げます。

【永代供養墓のお知らせ】

法岩院墓地の中央に『三界万霊塔』という永代供養墓が三十年以上前から建立されております。「将来、この墓を守ってくれる人が居ないのです・・・」

「娘が嫁いだので、お墓のことで心配をかけたくないのですが・・・」

昨今、このような相談が多くなって参りましたのでお知らせさせて頂きます。法岩院、長光院の墓地以外に、各地区の墓地などでも、これから様々なことがあると考えられます。

永代供養墓『三界万霊塔』についてやお墓の事で心配などありましたら、法岩院住職までどうぞご相談ください。



↑
三界万霊塔

発行 平成26年7月
編集者 祝融山 法岩院 住職
川村昌樹
住所 〒270-1121
我孫子市中峠 1561
電話 04-7188-1772(TEL)
04-7188-1786(FAX)